

2022 年 1 月 28 日

NGO・外務省定期協議会 令和3年度第2回連携推進委員会
配布資料

議題提案書

【 】 協議事項

【●】 報告事項

議題名：「JPO 派遣候補者選考試験」の案内

【提案者氏名、所属】

氏名： 中野美智子

所属： 国際機関人事センター

【議題提案の背景】

外務省国際機関人事センターでは、政府の費用負担により UNICEF や UNHCR、WFP、国連事務局等の国際機関で若手日本人が勤務経験を得られる JPO 派遣制度を実施している。JPO として国際機関に派遣されるためには、大学院卒業資格及び専門分野での職歴が条件となっており、国際協力分野での経験が生かせるため、国際 NGO での業務との親和性がある。また、国際機関職員は任期契約となっており、流動性があることから、国際 NGO との往来も考えられる。については、同制度の募集が開始になる時期に合わせて(1 月:事前登録、2 月～3 月上旬:本応募)、NGO に対して同制度について案内させて頂きたい。

【議題論点】(連携推進委員会で報告・議論したい点)

(報告のみ)

「JPO 派遣候補者選考試験」の募集時期、応募要件、選考プロセス、倍率や活躍事例等について簡単に紹介。

以上



外務省 国際機関人事センター

**「2022年度
JPO派遣候補者選考試験」
事前登録受付中・
2月1日～応募受付**

国際機関の採用制度

● 欧米型採用制度

- ポストに空き(空席)が生じたら募集する
- 募集、勤務開始のタイミングはさまざま
- 契約形態・期間も様々
- 多様性も選考の際重視

● 即戦力

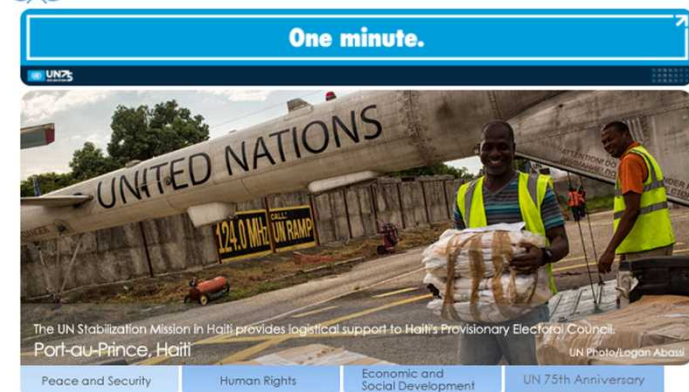
- 強みや経験(専門性)を備えている

● 異動・昇進も競争

- 空席ポストに自ら応募する

● 勤務地は大きくわけて2か所

- 国事務所もしくは、地域事務所か本部(地域事務所がフィールドという扱いの組織もある)



Meet our Global Workforce





国際機関に就職する方法

① 空席公募

随時

② JPO
派遣制度

2月頃

③ YPP

6～8月

JPO = Junior Professional Officer

YPP = Young Professional Programme

JPO派遣制度

JPO（ジュニア・プロフェッショナル・オフィサー）派遣制度とは、各国政府が費用を負担し、国際機関が若手職員を受け入れる制度。

【応募資格】（2021年度試験）

- **35歳以下**，日本国籍
- **修士号**取得済み
- **2年以上**の職務経験（アルバイト、インターン
は含まず）
- **英語**で職務遂行が可能

国際機関派遣実績

2020年度・・・54人

2019年度・・・52人

JPO経験者数

446名/918名

→5割近くがJPO出身



国際機関人事センター情報ツール



国際機関人事センター ホームページ
<https://www.mofa-irc.go.jp>



国際機関人事センター フェイスブック
<https://www.facebook.com/MOFA.jinji.center>



国際機関人事センター ツイッター
<https://twitter.com/MOFAjinjicenter>



国際機関人事センター リンクトイン
<https://www.linkedin.com/company/外務省国際機関人事センター>



国際機関人事センター Youtube
[国際機関人事センター - YouTube](#)

外務省 国際機関人事センター

世界で働く。夢じゃない。

JPO派遣制度

若い力を国際機関で生かす。あなたを応援する制度です。

正規職員と同様の勤務経験
経験や人脈を生かしステップアップ

応募条件 35歳以下 大学院修士号 職歴2年以上 英語力 日本語

2022年1月オンライン事前登録(必須)・2022年2月1日~応募書類受付開始 JPO派遣制度 検索

詳細・募集要項はこちら

国際機関で働こう！パンフレット

パンフレット（電子ブック）をご用意しています。
こちらをクリックしてご覧ください。



議題提案書

【 】協議事項

【●】報告事項

議題名：令和4年度NGO活動環境整備支援事業の委託団体・事務局の募集開始

【提案者氏名、所属】

氏名：松田 俊夫

所属：外務省国際協力局民間援助連携室 室長

【議題提案の背景】

外務省国際協力局民間援助連携室では、令和4年度NGO活動環境整備支援事業（NGO相談員、NGOスタディ・プログラム、NGOインターン・プログラム、NGO研究会）の委託団体または事務局の募集を開始した（事業ごとに公示期間は異なる）。各事業をより効果的・効率的に実施する観点から、連携推進委員会開催の機会をとらえて多くの団体に周知をする。

【議題論点】（連携推進委員会で報告・議論したい点）

以下の事業の公示案内。

- ・令和4年度NGO相談員委託団体の募集
- ・令和4年度NGOスタディ・プログラム事務局の募集
- ・令和4年度NGOインターン・プログラム事務局の募集
- ・令和4年度NGO研究会委託団体の募集

以上

**令和４年度ＮＧＯ活動環境整備支援事業（ＮＧＯ相談員、
ＮＧＯスタディ・プログラム、ＮＧＯインターン・プログラム、
ＮＧＯ研究会）の委託団体または事務局の募集**

令和４年１月２８日
外務省民間援助連携室

外務省国際協力局民間援助連携室では、令和４年度ＮＧＯ活動環境整備支援事業（ＮＧＯ相談員、ＮＧＯスタディ・プログラム、ＮＧＯインターン・プログラム、ＮＧＯ研究会）の委託団体または事務局を募集しています。

詳細は、調達ポータル（<https://www.p-portal.go.jp/>）より調達情報を検索して下さい。

※統一資格を持つ団体のみ公示資料の閲覧・入札が可能です。

統一資格の無い個人については公示資料の閲覧・入札は出来ませんので、ご注意ください。

●令和４年度ＮＧＯ相談員委託団体の募集

https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shimin/oda_ngo/shien/soudanin.html

●令和４年度ＮＧＯスタディ・プログラム事務局の募集

https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shimin/oda_ngo/shien/study_p.html

●令和４年度ＮＧＯインターン・プログラム事務局の募集

https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shimin/oda_ngo/shien/intern_p.html

●令和４年度ＮＧＯ研究会委託団体の募集

https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shimin/oda_ngo/shien/kenkyukai.html